

7月豪雨災害 義援金600万円

JAグループ寄付

県内のJAグループは、飛騨地域を中心に被害が出た7月豪雨災害の義援金600万円を県に託した。大半は職員らが寄せた募金で、県が市町村を通じて給付する2次配分に生かされる。

JA岐阜中央会の櫻井宏

代表理事会長らが県庁を訪れ、古田肇知事に目録を手



古田肇知事に目録を手渡す櫻井宏代表理事会長(右)＝県庁

渡した。櫻井代表理事会長は「被害は大きかったが、(国道41号などの)復旧も早かった。義援金を役立ててほしい」と述べた。

7月豪雨災害の義援金は、住宅被害の程度などに応じて1次配分としては約80～230万円、計約8120万円が5市2町の約70世帯などに配られた。2次配分は11月、3次配分は12月に行われる予定。

(舌間隆博)